

'21

前期日程

小論文 2

(共同教育学部・音楽，美術，保健体育専攻を除く)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで，この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は1冊(2頁)，解答用紙は1枚，下書用紙は1枚です。落丁，乱丁，印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 氏名と受験番号は解答用紙の所定の欄に記入してください。
4. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

2

次の文章を読んで、以下の間に答えなさい。

私の夢は、ドラえもんをつくることです。

この言葉を聞いて、どう思われるでしょうか。

あまりに突拍子とっぴょうしもないことに、笑ってしまったでしょうか。

もしそうだとすると、当然のことです。

「そんなの無理に決まっている」と、反感をもたれるでしょうか。

それもまた、当然のことです。

実際に私がこの夢を語ると、多くの方は鼻で笑います。

「ドラえもん……ですか？」と。

最初から真剣に話を聞いてくれる人なんて、めったにいません。でも、それは当然です。こんなにも子供じみたことを、大人が真剣に言いだすのですから。

子供じみた夢なのは、これが実際に私が子供のころにもった夢だからです。その夢を、大人になってもずっともちつづけてきました。

正確にいつからの夢なのかは、自分でもわかりません。記憶がないくらい前、少なくとも小学校に入るよりは前だったはずですから、二十年以上、ドラえもんをつくることをめざして生きていることになります。

ただ、この夢を人前で口に出せるようになったのは、ここ五年ほどのことでした。夢を語って笑われるのは、小さいころもいまも変わりません。ですが、小さいころの自分にとって、「夢を笑われる」という体験はとても強烈なものでした。

ドラえもんをつくりたい、と口にする、と、まわりの大人はみんな「がんばって」と言ってくれました。ただし、決して本気にされていないことはよく伝わってきました。

「がんばって」という言葉の裏にあったのは、子供ながらもわかる「嘲笑ちょうしやう」でした。幼い日の自分は、その嘲笑に耐えられず、かといって大人を見返す術すべももっておらず、いつしか自分の夢を隠すようになっていきました。

それからおよそ十五年、自分の夢は、自分のなかの奥底にずっとしまいこんだまま外に出すことはありませんでした。気がつけば、いつしかドラえもんを見る

ことすらも嫌になっていました。自分がドラえもんを大好きだということまで忘れていたのです。

出典：大澤正彦（2020）『ドラえもんを本気でつくる』PHP新書，pp. 3 - 4

問 夢を笑われて傷ついている子供時代の著者に，今のあなたはどのように言葉がけをするか，理由とともに具体的に述べなさい。（400字以内）